

ご 案 内

第31回廃棄物処理施設技術管理者 中央研究集会

廃棄物処理施設の適正な管理運営に、
新たなチャレンジ、ビジネスチャンスの種に、
最新の情報を！最先端を走って
おられる方々にお話しいただきます。

■開催日時：平成22年6月21日（月）

10時00分～15時00分

※6月22日（火）は、平成22年度理事会並びに定時総会（理事並びに代議員
には別途ご案内されます）

■会 場：（財）総評会館

東京都千代田区神田駿河台3-2-11・TEL：03-3253-1771（代）

【主 旨】 今日、廃棄物処理施設は、地域社会における生活環境保全の役割が改めて見直されるのをはじめ循環型社会の形成、地球温暖化対策、施設を長く大切に使うなど様々な課題に向き合っています。

本研究集会は、当該施設の技術管理者並びにその資格者が一堂に会して、今日的な課題とどのように向き合い、その果たすべき役割とあるべき方向性について確認し合い、今後の、廃棄物処理施設の適正な維持管理の推進、さらには廃棄物処理事業の発展に寄与しようとするものです。

【主 催】 一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会

【日 時】 平成22年6月21日(月)、10:00～15:00

【参加費用】 ・会 員 3,150円
・非会員 6,300円

【プログラム】 受 付 ・9時30分 ～
開 会 ・10時00分
主催者あいさつ 会長 寺 嶋 均

10時05分～11時00分



「廃棄物処理行政の動向」

名倉 良雄（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課課長補佐）

プロフィール：1993年 厚生省入省。環境省地球環境局地球温暖化対策課などを経て、2009年7月より現職。

講演要旨：廃棄物処理行政の動向について

11時05分～12時00分



「廃棄物処理を取り巻く国内外の潮流」

－環境・資源・社会のサステナビリティと廃棄物－

森口 祐一（独立行政法人国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター長）

プロフィール：京都大学工学部衛生工学科卒業。博士（工学）。国立公害研究所総合解析部研究員、環境庁企画調整局併任、OECD事務局研修員、国立環境研究所資源管理研究室長などを経て、2005年から現職。中央環境審議会循環型社会計画部会、廃棄物リサイクル部会臨時委員、産業構造審議会臨時委員など公職多数。東京大学大学院新領域創成科学研究科客員教授。国連環境計画「持続可能な資源管理に関する国際パネル」メンバー。

講演要旨：前世紀の大量生産・大量消費型社会は、適正処理すべき大量・多様な廃棄物を発生させ、身近な生活環境に影響を及ぼす一方、エネルギー・資源需給や地球温暖化などの地球の有限性の制約とも関わってきた。温室効果ガスの大幅削減の必要性、近隣諸国の急速な経済発展に伴う資源循環の国際化、財政制約・少子高齢化の中での公共サービスの維持など、わが国の経済社会をとりまく潮流と、廃棄物処理とのかかわりについての展望を試みる。

12時00分～13時00分

昼

食

13時00分～13時55分



「廃棄物のリスク管理とヒューマンファクター」

－その事故はなぜ起きたか－

小野田 弘士（株式会社早稲田環境研究所 社長）

プロフィール：1978年5月12日生まれ。2006年3月、早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。2006年4月より早稲田大学環境総合研究センター講師。2008年4月より同准教授（現職）。2003年8月、環境系の大学発ベンチャー、株式会社早稲田環境研究所を設立し、代表取締役役に就任（現職）。専門は、エネルギーシステム、環境配慮設計、ライフサイクルアセスメント（LCA）等。

講演要旨：廃棄物・リサイクル処理施設等において、事故・トラブル等が多発している。こうしたNIMBY (Not In My Backyard) 的な要素を有する静脈施設では、施設等の「安全」な設計・操業を支援し、その「安全」をベースとして周辺住民等の「安心」を確保するためのシステムの構築が必要不可欠である。そこで、提案者らが構築してきた事故・トラブル・ヒヤリハット事例データベースの分析結果等に基づき、静脈施設のリスク管理の在り方に関する提言を行う。

14時00分～15時00分



「リサイクル工学の今を語る」

－廃棄物の資源化、現代の錬金術、クリティカルメタル再生－
無から有は生じないが、あるものは回収・再生できる！

中村 崇（東北大学 多元物質科学研究所 教授）

プロフィール：1977年九州大学大学院工学研究科博士課程修了、その後九州工業大学工学部教授、東北大学素材工学研究所教授などを経て、2001年から東北大学多元物質科学研究所・教授。専門は、リサイクル工学。著書に、「レアメタルの代替材料開発とリサイクル技術」など、リサイクル技術や環境規制物質の処理技術に関する科学論文多数。現在、小型電子・電気機器のリサイクルの促進を目指し、回収の社会実験ならびにリサイクル技術の開発を行っている。

講演要旨：電気・電子機器には欠かすことができない銅、貴金属、レアメタルをカバーするクリティカルメタルの各種廃棄物からのリサイクルのシステムと技術の現状を示し、これからいかにそれら金属のリサイクルを促進するかを「リサイクル工学の基本」に戻り、明らかにする。新しいリサイクルシステムとそのシステムに適した技術が再生の鍵となる。

注：参加のお申込みは、別添の参加申込書で行ってください。

平成22年度（第31回）廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会

会場（財）総評会館の案内図

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

TEL：03-3253-1771（代）



【交通機関】 ●地下鉄：丸ノ内線／新宿線をご利用の方は地下道を通り、千代田線方面へ

東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 B3出口（徒歩0分）

東京メトロ丸ノ内線 淡路町駅 B3出口 ※(B3出口まで徒歩5分)

都営地下鉄新宿線 小川町駅 B3出口 ※(B3出口まで徒歩3分)

※B3a出口は、違う方向へ出ますのでご注意ください。

●JR：JR中央線・総武線 御茶ノ水駅 聖橋口（徒歩5分）

(お申し込みは、FAX 044-270-5566へ)

第31回 廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会 参加申込書・受付証

あなた様の受付証の送信先FAX番号をご記入ください。→ ()

第31回中央研究集会を次のとおり申し込みます。

※参加者のお名前並びに会員No (会員は必須、非会員の方は不要) をご記入ください。

参加者のお名前 会員No (非会員の方は不要)

参加者のお名前 会員No (非会員の方は不要)

参加者のお名前 会員No (非会員の方は不要)

参加者のお名前 会員No (非会員の方は不要)

なお、参加費 (・会 員3,150円× 人 = 円
・非会員6,300円× 人 = 円) は、

●銀行振込先：三菱東京UFJ銀行 川崎支店 普通 0095786 一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会へ
平成22年 月 日 (頃)に口座名義人 で振込みました。

(・振込み予定です。・その他支払連絡事項)

参加申込受付書の送り先 (本件ご担当者)

氏 名 勤務先

所 属

勤務先所在地 〒

連絡先電話 () ※冒頭に本 受付証 の送信先FAX番号をご記入ください。

平成22年 月 日

※事務局記載欄

第31回中央研究集会 参加申込受付証

上記のお申込みを確認し受付いたしましたので本書をお送りいたします。

ありがとうございました。

(一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会事務局確認欄)

受付番号 印

※なお、当日は本書を受付にご提示ください。

(事務局) 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6 (財)日本環境衛生センター内
一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会事務局行き
電話044-288-2456 FAX 044-270-5566